

市場と政府の経済、法及び会計に関する研究

研究代表者	会計研究科 教授 柴 健次
研究概要	小泉構造改革は郵政民営化にとどまらず小さな政府を実現すべく進行中である。これは市場と政府の役割分担が変わり、市場重視へ傾くことを意味する。かかる市場化が進展するとき、我々の生活はどのように変化するのかについて、経済学、法学、会計学等の諸学問それぞれの観点からアプローチし、変化する時代の課題を鮮明にし、それらの一つ一つを解いていく。それがいま大学に求められている教育の内容でもある。大学に設置される専門職大学院の教育内容もまさしく時代を説明できる内容でなければならない。かかるテーマを本ユニットは追求していく。
学内研究員	商学部 教授 笹倉 淳史 政策創造学部 教授 亀田 健二 会計研究科 教授 松尾 幸正 会計研究科 教授 松本 祥尚 会計研究科 教授 宮本 勝浩 会計研究科 教授 宗岡 徹 会計研究科 教授 清水 涼子 会計研究科 教授 富田 知嗣 会計研究科 准教授 坂口 順也 商学部 准教授 木村 麻子 (※所属・職名はプロジェクト終了時点)
学外共同研究者	インタリスク総研 本間 基照 りそな総合研究所 筒井 真紀 (※所属・職名はプロジェクト終了時点)
設置期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
設置場所	第2 学舎経商研究棟 4階418号室 (柴健次研究室)